

三中図書館だより



令和5年度 No. 8
11月10日 図書文化委員会
学校司書 発行

文化祭の合唱、とてもとても素敵でした。準備の段階からそれぞれにがんばる姿も素敵でした。パンフレットや壁画、美術作品からも取り組んだ情熱が伝わってきました。学校だけでなく、地域のみなさんや保護者の方々も楽しめる文化祭だったと思います。

さて、読書の秋でもあります。読書週間は9日まででしたが、今年度の読書週間のテーマは「私のペースでしおりは進む」です。素敵な標語ですね。いろいろと忙しい中学生のみなさん。みなさんのペースで読書を楽しんでください。



つながる読書



順位ページ数

- 1位 7,950 1年 竹澤奈乃花さん
- 2位 4,226 3年 高木千穂さん
- 3位 3,698 3年 知家日菜乃さん

読書ページ総数 32, 336 ~11/9

読書感想画 指定図書 ~本を読んで感じたことを絵で表現しよう~

『手で見るぼくの世界』



視覚支援学校に通う佑(たすく)と双葉(ふたば)がそれぞれの葛藤を乗り越え、再び世界に踏み出していくお話です。

『シタマチレイクサイドロード』



『母の国、父の国』

主人公の笑美理(エミリ)は、黒人と日本人のハーフ。周りとの容姿や家庭環境の違いから苦しいことの多い人生を歩んできた。

『ラスト・チェリー・ブロッサム』



『パップという名の犬』

ブックカフェや図書館や博物館など、東京の下町を舞台に紡がれる青春と恋のさわやかな物語です。

体が大きく、吠えグセがあるため、捨てられた子犬のパップ。男の子に再会できる日は来るのだろうか？

日系アメリカ人の著者が、母の被爆体験をもとに描いた作品です。原爆が落とされる1年ほど前のユリコ(著者の母)の話からスタートします。



給食と本のコラボ



『うみのごちそうしろくま』 柴田 ケイコ



給食では、「ししゃもフライ」が出ました。フライにすると、ししゃもが苦手な人もさっぱり美味しく食べられたのではないのでしょうか。

しろくまが、いろんな食べ物の中にはいて、表現するしろくまシリーズ、今回は「うみのごちそう」です。

まぐろ、アジのフライ、イカやき、ウニにいわしのかんづめ……くいしんぼうのしろくまはなんだってペロリと食べちゃいます。しろくまの家族にも注目です！